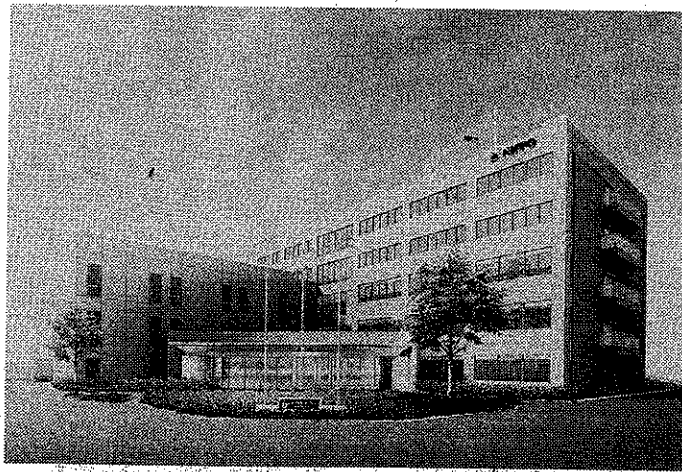


高層マンション提案強化

120Nコンクリ
製造・施工技術
年度内認定目指す



総合技術センター（さいたま市）の完成予想

NIPPO

NIPPOは、25階程度の高層マンションの提案活動を強化する。設計強度120ニュートン（N）／平方メートルの高強度コンクリートの製造・施工技術を確認して国土交通大臣認定を本年度中に取得することを目指しており、技術的真付けを持った提案活動を行えるようにする。9月末の竣工に向けてさいたま市内の自社所有地で建設中の「総合技術センター」では、基礎工事に80Nを採用するなど、具体案件でも高強度コンクリートを施工。こうした実績も今後の建築営業に生かしていく。

自社物件の実績も活用

総合技術センターは、5階建て延べ6157平方メートルなどを集約するほか、研さいたま市西区三橋内の方々の建物を建設。分散修繕機能なども設ける。また自社所有地で、既存施設する技術研究所、技術開た、東京都中央区の本社を解体した後、RC造発部、技術系の関連会社内にあった電算センター

を移し、震災などで本社に被害が生じたときの代替施設とするなど、事業継続する上での機能にも位置づけている。

同社とグループ会社の大日本土木がJVを組んで施工した施設の建設にあたっては、3階建ての研修棟に免震構造を採用。計8基の免震装置を基礎部分に設け、地震時の加速度を3分の1〜4分の1程度に抑え、被害軽減を図ることにした。

また、基礎部分には08年11月に大臣認定を取得した80Nの高強度コンクリートも導入し、実績づくりに役立てた。

そのほかにも、太陽光発電施設、照明制御やLED照明など、省エネルギー化や二酸化炭素（CO₂）の排出量削減につながる各種設備も取り入れた。

同社は自社物件で各種技術を取り入れた施工実績を、今後の建築事業に

生かしていく方針。特に高強度コンクリートについては120Nの大臣認定も目指しており、これまで単独では経験のない25階程度の高層マンション建築の提案などに生か

る。また、中堅ゼネコンらで構成する共研フォーラムにも参加し、各種アーマの技術開発に取り組みほか、専門メーカーと共に

同で耐震ブレースの開発なども行っており、こうした成果も順次、実際の建築施工に取り入れながら、一段と幅の広い物件を手がけていきたいとする。

日刊建設工業新聞
平成22年8月30日掲載